



2015～16 年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラ

Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16 年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16 年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次

新潟 RC10月第 3例会 (2015.10. 20) No.3107

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

小林古径

明治十六年（1883）～昭和三十六年（1957）

上越市（新潟・高田）の生まれで、本名は茂、幼くして両親を亡くしたが、早くから絵の道に惹かれ、地元で活躍している画家に教を乞うていた。

しかし、明治三十二年、十六歳で上京、伝手を頼って梶田半古に学び絵の修業をする。やがて岡倉天心が立ち上げた日本美術院に加わり、明治の新日本画の興隆に貢献した。当時は天心直系の横山大観、下村観山、菱田春草、西郷獨月、今村紫紅、安田靉彦、前田青邨が加わった。

また、文学にも力を入れ、いつも懐には書物を入れていた。森鷗外の「即興詩人」は特に愛読し、仲間の画家に朗読をして聴かせたこともあった。

長く絵が売れない時代が続き、アルバイトに実業之日本から出版されていた「幼年の友」の挿絵を描く一方、編集の依頼があり歴史画を描いていた。

このような中、二十六歳の時に自宅に岡倉天心が直接やってきて、前田侯爵家の加賀鳶を描くよう頼んできたことから先が拓けてきた。天心は古径に対し、

「旅に出て宿屋に泊って茶代をおくのに、ふつう五十銭というところを一元おいても大して効き目はありません。二円おいてもそれほど効きません。それを五円おいてごらんさい。目立った効き目があります。加賀鳶が江戸風俗だからといって、師宣ぐらいを考えてはいけませんよ」

と言ったという。

この言葉に古径はショックを受けたという、つまり、何を描くにもいちばん高い所、最高の芸術を基準として描くことを学んだ訳である。

明治三十九年、奈良、京都を訪ね安田靉彦と知り合い、これが縁で二人の関係が深まり、やがて明治から大正、昭和で活躍する多くの画家との作品競作が行われるのである。

作品も、「異端」、「阿弥陀堂（大正四年）」、「竹取物語（大正五年）」、「いでゆ（大正七年）」、「麦（大正八年）」、「罌粟」等の作品がある。

古径芸術に一大転機が訪れた。大正十一年日本美術院の

留学生として、前田青邨とともに欧州に派遣されたことである。

事前準備も周到にし、ローマ、フィレンツェ、パリ、ロンドンと約一年をかけて欧州を旅した。中でもロンドンの大英博物館では顧愷之の「女子箴図卷（しんずかん）」の模写は大いに参考となった。東洋の大古典をロンドンの真っ只中で学ぶ機会となった。二人は毎日博物館へ通い、薄暗い片隅の一室で、この古代の絵巻のぼやけた線描を辿っていく苦心は今後の絵画の大いなる参考となった。このことは、異郷にあって世界的な東洋の古典を魂を込めて模写したことによって、東洋美術の再認識を迫られたことであった。

帰国した古径は、以前の単なる細密写生に戻ることなく、その後一層堅密な構図、決定的な線描、簡明素純な色彩によって高度な作品へと昇華していった。

「犬と遊ぶ（大正十三年）」「機織（大正十五年）」「鶴と七面鳥（昭和三年）」「清姫（昭和五年）」「髪（昭和六年）」が続いて発表された。古径の新古典主義典型ともいえるべき作品が次々と誕生していった。

昭和初期の画壇で対照的な組み合わせとして、洋画壇における安井曾太郎・梅原竜三郎、日本画壇における安田靉彦、小林古径時代と言われている。

昭和十九年には、東京美術学校教授に就任、また帝室学芸員に選ばれ、指導者としても活躍した。

戦中戦後の不穏な時代を経て、戦後院展に出品「舞踊図（昭和二十三年）」「食後（二十四年）」「壺（二十五年）」「楊貴妃（二十六年）」「菖蒲（二十七年）」と充実した作品を制作した。

昭和二十五年には、文化勲章を受章、その後、昭和三十二年四月、満七十四歳の生涯を終えた。

平成十四年には生まれ故郷の上越市の高田公園内に小林古径記念美術館が建設され、東京から移築され、蓮の花に囲まれた一角に小林古径邸が復元されている。

(3) ロータリーの友10月号の紹介（山田広報会報雑誌委員長）

(4) 同好会報告

・高橋 清文野球部監督 14日 相沢さんの送別会と野球同好会決起大会を開催し多数ご参加頂きありがとうございました。24日市内RC野球大会がエコスタジアムで開催されます。新潟クラブは第二試合10:00、新潟北、中央合同チームと対戦します。応援も宜しくお願い致します。

(5) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(若杉 武副委員長)

宇尾野 隆君 徳永 昭輝君

徳山 啓聖君

青少年育成基金寄付発表(小林 悟委員長)

若杉 武君

(6) ニコニコボックス紹介(八島 進委員)

・内田 直紀君 お誕生日祝い有難うございました。
・高橋 義明君 結婚記念日のお花有難うございました。女房はニコニコでした！
・高橋 清文君 先週水曜日イタリア軒にて相沢さんの送別会及び野球同好会の決起大会に多くの方にご参加頂きまして誠に有難うございました。大いに盛り上がりニコニコです。大会も今週末に迫りましたので皆様の応援宜しくお願いします。
・長谷川 秀彦君 第29回サラリーマン川柳募集しています。奮ってご応募下さい。素敵な句でニコニコして下さい。小林 悟さんお待ちしております。
・徳永 昭輝君 第42回日本産婦人科医会学術集会が10月16日から18日の3日間グランドホテルで開催され無事終わり学術集会の会長としての役目を果たせホッとしています。全国から500余名の産婦人科の先生方が参加して行われました。武見敬三参議院議員「活力ある健康長寿社会の実現に向けて」による特別講演もあり産婦人科医としての今後の医療への新たな取り組みが必要だと痛感させられました。懇親会は17日に260余名が参加され新潟芸妓20名の踊り、8メートル21センチのたいしたもん蛇の舞、最後は佐渡の鬼太鼓を楽しんで頂き新潟の良さを演出できたと思っています。18日の昼から新潟市出身の芥川作家、新井満さんによる「千の風から希望の木へ」、「生とはなにか？死とは何か？いのちの不思議について語り歌う感動の75分」市民公開講座を行いました。350余名の方が参加されて感動のひと時でした。無事に学術集会が終わる事が出来ニコニコさせて頂きます。

(7) 幹事報告(吉田 和弘幹事)

・2560地区ガバナーノミニーに、新潟万代クラブ 新保 清久さんが決定したお知らせがありました。

(8) 会員スピーチ「協同組合について」

農林中央金庫新潟推進室

室長 鷗野 幸規 君

(9) 10月20日例会の出席率 71.28%

会員数99名(出席免除会員 9名)

出席者67名(出席免除会員5名を含む)

(2週間前メーク後 88.30%)

2015～2016年度 新潟ロータリークラブ職場訪問

職業奉仕委員会

今年の職場訪問は、JR 東日本新潟支社 弭間支社長のご協力を得て、10月6日例会終了後、新潟市東区にある新潟新幹線車両センターを見学しました。

当日は、新潟新幹線車両センターの中野孝所長からの概要説明のあと、車両センター内にある「仕交検庫(仕業検査・交番検査を実施する車庫)」と技能教習所のある「臨修庫(臨時修繕を実施する車庫)」を約2時間にわたり視察しました。

乗客ならびに整備担当者の安全を守る、長年の知恵と工夫によって構築された、確実に保守・点検を行うシステムとルールは、参加した23名にとって非常に参考になる、有意義な職場訪問となりました。



新潟新幹線車両センター
中野孝所長



新潟新幹線車両センター見学の様子



作業の安全を確保する「命鍵」

11月10日の例会予定

「ロータリー財団月間に因むお話」

織戸潔財団委員長